

第三者検証

本誌、荏原グループCSRレポート2015に報告されている2014年度の温室効果ガス排出量に対してビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)の限定的保証を得ています。(2015年6月30日付)ビューローベリタス発行の「温室効果ガス排出量検証報告書」から、当社が要点を抜粋したものを以下に示します。

1. 検証範囲

スコープ1及びスコープ2温室効果ガス排出量

- 荏原グループ日本国内49拠点の事業活動における、2014年4月1日から2015年3月31日の期間のエネルギー起源CO₂排出量

2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO14064-3(2006): Greenhouse gases-Part3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions の要求事項に従い、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- 温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のある荏原製作所の関係者へのインタビュー
- 温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、荏原製作所の情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- 温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- 著しく正確性を欠き、対象範囲における温室効果ガス排出量データを適切に表していない。
- 荏原製作所が定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない。

【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスの検証チームメンバーは当該任務の要求の範囲外において荏原製作所とのビジネス上の関係は有していません。

検証された温室効果ガス排出量

スコープ1	スコープ2
10,543t-CO _{2e}	28,451t-CO _{2e}

CSR活動の着実な推進を目指して

企業リスク管理統括部長
植木 庸幸

指名委員会等設置会社への移行にともない、当社CSR委員会は、取締役で構成される委員会から執行役で構成される委員会となりました。取締役会が示す経営方針に即して執行役CSR行動計画を策定します。執行役CSR行動計画は、当社グループのCSR活動の重点課題を示します。CSR委員会はCSR

行動計画に即して具体的な活動を推進するとともに、その結果を取締役に報告することによって次の目標設定につなげ、継続的な改善を図ってまいります。

当社は、統合報告書第1号を2015年に発行いたします。統合報告書では事業活動と財務情報をより詳細にご報告いたします。